

## 第6回全国川サミット in 雄物川 宣言文 (案)

私たちは、奥羽山脈の深奥に源を発し、秋田の沃野を育み、日本海にそそぐ、母なる川「雄物川」のほとりに集い、川がつなぐ「ひと・まち・こころ」をキャッチフレーズに第6回「全国川サミット in 雄物川」を開催しました。

さて、日本列島を木に見立てれば、川という枝がたくさんあります。その枝に、より多くの花や実をつけ、未来に向かって大きく枝葉を広げたいものです。そのため、川と共に生きる人々が集い、川を活かしたまちづくりに、心をよせあい、知恵を出し合いました。

その中で、生命の源となる川に今私たちが何を想い、何をしなければならないのかについても話し合いました。

そして、「全国川サミット in 雄物川」を記念し、川を軸とした交流と、さらなる連携が図られることを願って、次のことを宣言します。

1. 豊かな生活と文化を育むため、川との共生をめざし、川を活かしたまちづくりを進めます。
1. 清らかな流れを守り、安らぎのある水辺空間を創造し、災害に強いまちづくりを進めます。
1. 流域の豊かな自然、美しい川、そして、そこに培われた歴史や文化を次代の人々に引き継ぎます。
1. 川を通じて、流域の人々と交流を深め、よりよい地域づくりを進めます。
1. 美しい水と緑の国土をつくるため、全国の川を愛する人々と、友好を深めます。

平成9年8月9日

第6回全国川サミット in 雄物川参加市町村